

■はじめに お使いになる前にかならずお読みください。

- お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったこと、または静電気や落雷などの影響を受けたことによって生じた事故や不具合、それらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご承知ください。
- 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷、お買い上げ後の輸送、落下による故障及び破損が認められる場合、いかなる事由においても修理・交換はいたしかねますことを、あらかじめご承知ください。

■安全上のご注意 お使いになる前にかならずお読みください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します



取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの



取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。

※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要しないケガや火傷、感電などを指します。

※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかる拡大損害を指します。

次の記号は、その注意事項の内容を表します。

	禁止 (してはいけないこと)		水がかかる場所で 使用したり、水にぬ らしたりしてはいけ ないこと		ぬれた手でさわらな いこと
	分解しないこと 分解禁止		指示 (必ずしなければな らないこと)		電源プラグを 抜くこと



■ 注意一続き



- 下記の問題が発生した場合は、ただちに乾電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
 - ・使用中・充電中・保管時に、発煙・異臭・異音などが発生した場合
 - ・本製品内部に水や異物が入った場合
 - ・本製品を落とした場合
- 乾電池の液漏れや、変色、変形そのほかの異常があった場合は、ただちに使を止め乾電池から漏れた液体が皮膚や服についた場合はただちに水で洗浄してください。万一、液体が目に入ってしまった場合には、ただちに大量の水で洗浄し、医師に相談してください。
- 修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となり修理できません。

分解禁止



- 本体内部に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。
- 本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。乾電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により大ケガや火災の原因になります。
- 落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因となり修理ができません。
- 本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させたりしないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触すると火災や感電などの原因となります。特に子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。



- 本製品を濡れた手で扱わないでください。火災や感電の原因となり大変危険です。また水漏れが原因で発生するショート・電池の液漏れ等が原因で故障した場合は修理できません。
- 本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。
- ほかの電気機器の近くで使用した場合、お互いが干渉し雑音が発生する場合があり、特に近くにテレビやパソコンなどの機器がある場合、雑音が大きくなることがあります。その場合は離れた場所でご使用ください。
- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため乾電池を本体から抜いてください。乾電池の液漏れが思わぬ火災や故障の原因となり大変危険です。またその場合は修理できませんのでご注意ください。
- 電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源プラグや端子に付いたほこりは、乾いた布で拭きとってください。火災や感電の原因となります。
- 電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですとほこりが付着して火災や感電の原因となります。



- 直射日光の当たる場所、車の社内や温室などの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・やけど・感電の原因になることがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色、塗装はげの原因となります。
- 本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。また、磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。万一故障してしまった場合火災の原因となることがあります。

カセットテープの取り扱いに関するご注意

- 本機で使用可能なカセットテープは60分テープまでです。

60分を超える物はテープの劣化等の影響で絡まりやすいためご使用をお控え下さい。
テープが切れ故障の原因となります。

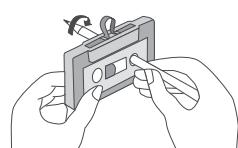
- 定期的なクリーニングをしてください。

再生中に音がこもったり小さくなったり、聴こえなくなった場合は、まれに磁性体(テープに使用されている金属粉)や異物がピンチローラーや再生ヘッドに付着している場合があります。市販のヘッドクリーナーや綿棒などを使用して再生ヘッドをクリーニングしてください。



- テープのたるみにはご注意を

再生時にテープがたるんでいると本体に絡まりテープにダメージを与える可能性があります。再生前に右図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



aiwa

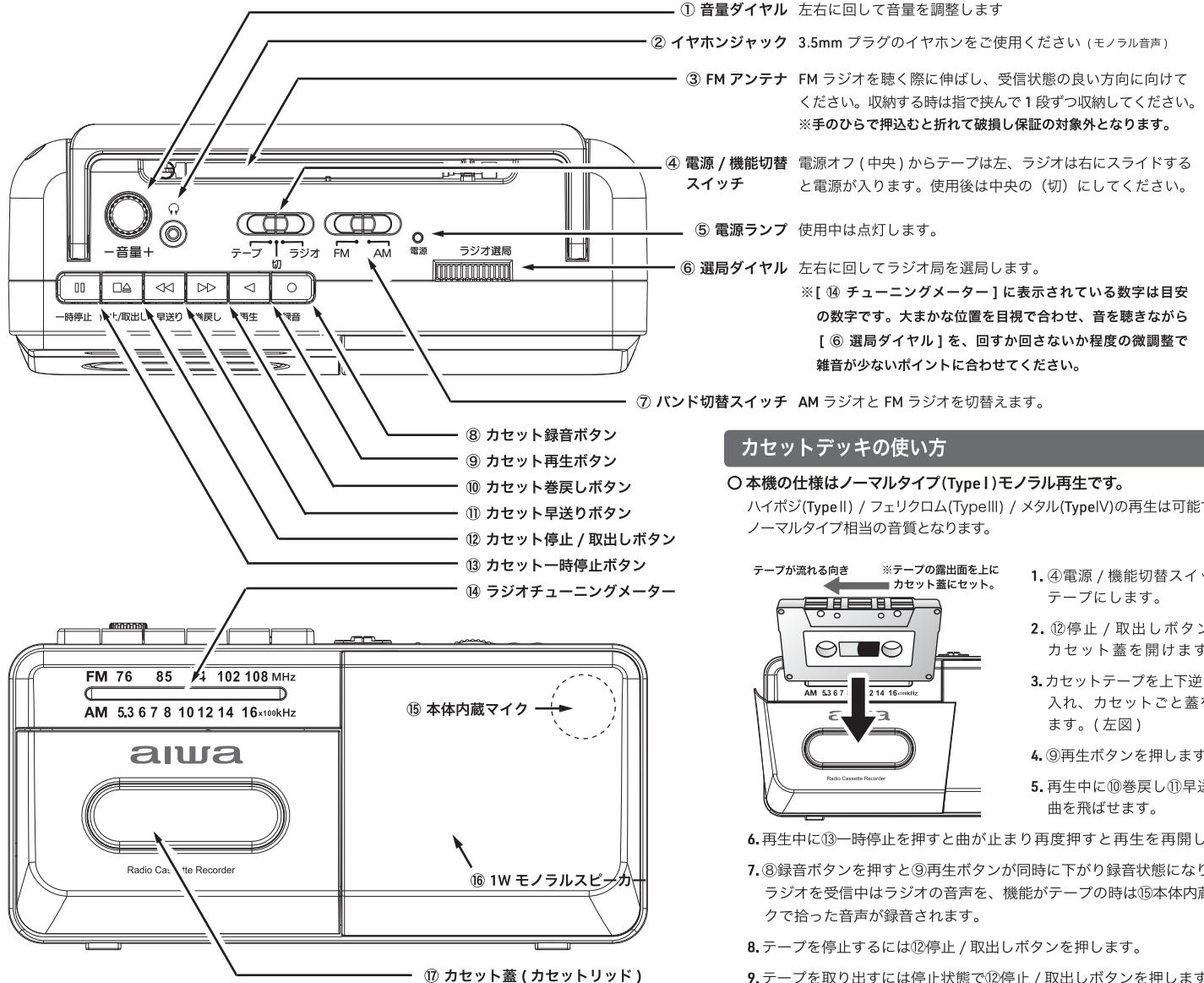
**ラジオカセットプレーヤー
aiwa audio -G RCP4**
ユーザーマニュアル

型番：GAA4-RCP0004(BK/GR)

■ご使用の準備

- 付属の電源コンセントでの使用・・・本体背面にある電源コード差込口に電源コードをしっかりと差し込んでからコンセントに繋いでください。
※本体背面の差込が弱いと使用中に電源コードが抜け再生が止まります。
- 乾電池での使用・・・本体背面にある電池カバーを開け、電池の向きに注意して単二乾電池x4本をセットします。
※アルカリ乾電池の使用をお薦めします。電池がセットされても電源コードを繋いだ場合は電源コードからの電源が優先します。

■各部の名称と操作方法



故障かな？と思ったら

■電源が入らない

- ・電池は入っていますか？電池の向きは正しいですか？
- ・電池の容量は十分ですか？全ての電池を新しいものに替えてみてください。
- ・電源コードはしっかりと差し込まれていますか？本体背面から抜けていませんか？

■音が聴こえない

- ・音量のダイヤルを右(大)に回してください。
- ・選局のダイヤルを動かしてチューニングをしてください。

■ラジオが受信できない、雑音が多い

- ・AMラジオの場合は本体内蔵アンテナが受信します。本体の向き・高さを変えて聴こえやすい状態を探してください。
※AM電波は山影やビル影、鉄筋建物の中では受信しづらく、周辺環境の影響を大きく受けます。
- ・ワイドFMでの受信をお試しください。
- ・FMラジオの場合はロッドアンテナを伸ばしてご使用ください。

製品仕様 及び 同梱物

- ・本体サイズ：約幅265x奥行105x高さ165mm
- ・重さ：約980g(電池除く)
- ・材質：ABS樹脂 他
- ・AM受信周波数：530～1600kHz
- ・FM受信周波数：76～108MHz
- ・伸縮式ロッドアンテナ
- ・出力端子：イヤホン3.5mmミニジャック
- ・電源：単二乾電池x4本(6V)
- AC100V 50/60Hz 消費電力：6W
- ・スピーカー出力：1W

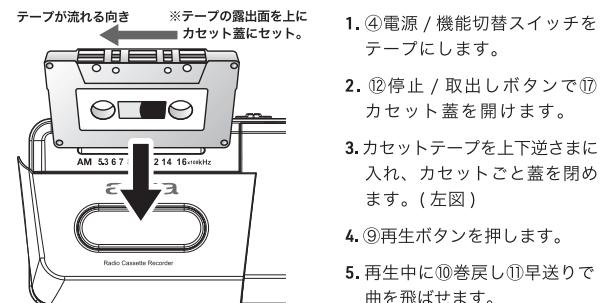
■同梱物：本体x1、保証書付取扱説明書(本書)、電源コード

- ① 音量ダイヤル 左右に回して音量を調整します
- ② イヤホンジャック 3.5mm プラグのイヤホンをご使用ください(モノラル音声)
- ③ FMアンテナ FMラジオを聴く際に伸ばし、受信状態の良い方向に向けてください。収納する時は指で挟んで1段ずつ収納してください。
※手のひらで押込むと折れて破損し保証の対象外となります。
- ④ 電源 / 機能切替スイッチ 電源オフ(中央)からテープは左、ラジオは右にスライドすると電源が入ります。使用後は中央の(切)にしてください。
- ⑤ 電源ランプ 使用中は点灯します。
- ⑥ 選局ダイヤル 左右に回してラジオ局を選局します。
※[⑭ チューニングメーター]に表示されている数字は目安の数字です。大まかな位置を目視で合わせ、音を聴きながら[⑥ 選局ダイヤル]を、回すか回さない程度の微調整で雑音が少ないポイントに合わせてください。
- ⑦ バンド切替スイッチ AMラジオとFMラジオを切替えます。

カセットデッキの使い方

○本機の仕様はノーマルタイプ(Type I)モノラル再生です。

ハイポジ(Type II) / フェリクロム(Type III) / メタル(Type V)の再生は可能ですが、ノーマルタイプ相当の音質となります。



6. 再生中に[⑬ 一時停止]を押すと曲が止まり再度押すと再生を再開します。

7. ⑧ 録音ボタンを押すと⑨ 再生ボタンが同時に下がり録音状態になります。
ラジオを受信中はラジオの音声を、機能がテープの時は[⑮ 本体内蔵マイク]で拾った音声が録音されます。

8. テープを停止するには⑫ 停止 / 取出しボタンを押します。

9. テープを取り出すには停止状態で⑫ 停止 / 取出しボタンを押します。

※カセットテープ機能について、音質の劣化や無音、テープ絡みなどトラブルが発生した場合は裏面の「カセットテープの取り扱いに関するご注意」をご覧ください。

アフターサービスについては、直接下記サポート窓口までお問い合わせください。

サポートセンター

TEL:0570-055-054(ナビダイヤル 有料)
FAX:048-997-2082(有料)

受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00 (土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

Eメールアドレス : aiwa@tohshoh.jp

○通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。

○サポートセンターの電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。

○年末年始などのサポートセンターの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。

※本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。

〈販売元〉

株式会社とうしょう (aiwa特約エージェント)

〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曽根 1442-1